

火の用心

回覧

狭山市消防団広報誌
平成24年3月9日発行

発行：狭山市消防団
編集：狭山市消防団広報委員会

～ 狭山市消防団通信 ～

操法大会

狭山市消防団操法大会

平成23年9月11日(日)第10回消防団消防操法大会が上奥富運動公園仮設訓練場にて開催されました。

消防操法とは主に消防団員が安全かつ迅速な消火活動を目指した基本操作であり、実際の火災現場での消火活動の基本となる訓練です。

この数ヶ月間、各地区の消防団員は、仕事が終わった後や休日などに訓練を積み重ね大会当日には日頃の成果をすべて発揮すべく、会場は朝から選手達の緊張感が漂っている感じでした。

狭山入間支部大会

平成23年9月25日(日)第3回埼玉県消防協会狭山入間支部消防操法大会が開催され、両部門とも狭山市消防団が優勝をおさめました。

なお、小型動力ポンプの部で優勝した狭山市消防団第5分団第2部第1班は平成24年8月25日(土)に開催される埼玉県消防操法大会に狭山入間支部代表として出場します。



順位表

狭山市消防団操法大会

狭山入間支部大会

優勝

小型動力ポンプの部			消防ポンプ自動車の部		
第三位	準優勝	優勝	第三位	準優勝	優勝
第5分団第2部第3班	第5分団第2部第1班	第4分団第1部第2班	第3分団第1部	第4分団第2部	第4分団第1部
第5分団第2部第1班	狭山市消防団第5分団第2部第1班	狭山市消防団第4分団第1部			

県大会出場に向けて

第5分団第2部第1班
指揮者 班長 梅林 傳一郎
私たちは操法大会に向け、平日の夜間や休日に訓練を重ね、狭山入間支部大会で優勝することができました。これは団員同士の意識の向上やかけがえのない絆を深め、一致団結出来たからだと思えます。8月の県大会に向け支部の代表として、悔いが残らぬよう全力を発揮し全国大会を目指し更なる訓練をしていきます。

特別点検



平成23年12月3日(土)に予定しておりました「狭山市消防団特別点検」は、会場不良のため、屋内における表彰式典に変更となりました。当日は多数のご来賓を迎え、消防本部講堂で午前10時30分から消防庁長官表彰等の伝達が行われました。



消防団員募集中!



詳しくはこちらへアクセス

「安全管理員」ってなんですか？

本年度より、全国に先駆けて発足した狭山市消防団「安全管理員」はまだ馴染みのない役職ですが、その活動内容や目的をご存知ですか？今回、総括を務める下村副団長（写真）にお話を伺いました。

「安全管理員」発足の経緯とその必要性についてお聞かせください。

消防団員は通常各自の職業に就きながら、消防防災活動に従事しています。そのため、「集務執行時に受傷者を出さない」ことを目的に立ち上げました。「安全は全てに優先する」ことから消防団員の安全を保持するため、あらゆる手段を講じ、絶対に受傷者を発生させないという、個人及び組織の共通認識のもと、活動する必要性があると考えます。

具体的な活動内容はどのようなものでしょうか？

○危険予知訓練（KYT）
消防活動や訓練、演習等の中に潜む危険要因とそれが引き起こす現象を話し合い、考え合い、危険レポートや重点実施項目を唱和し、指差し確認して事前に安全を確保する訓練。
○ヒヤリ・ハット報告制度
事故には至らなかったが、「ヒヤリ・ハット」した事例を積極的に報告させ、その事例をもとに潜在する危険要因を事前に研究することで、団員一人ひとりの安全意識の高揚を図る。

○安全管理のための現場指揮体制
災害現場での指揮者（団長など）とは別に安全管理を専門とした人員を配置することで団員の安全を確保する。



これから活躍する団員へ一言お願いします。

肝に銘じて欲しいことは、まず自分自身を守る術を学ぶということ、消防団というものは、世代を超えた多種多様な職業人の集まりであり、そこで培うチームワークは必ずあなたを成長させてくれるでしょう。
「サイレンの先には誰かが助けを求めている」
「いつもしどきサイレンを」

狭山市消防出初式

平成24年1月7日
土上奥富運動公園にて出初式が行われました。

当日は狭山東、中央中学校吹奏楽部の演奏から始まり、消防職員・団員による分列行進、一斉放水などが行われました。



また、今年も昨年の東日本大震災を教訓に、消火・救助・救急搬送など様々な災害を想定し、埼玉県防災ヘリコプターによる高層建物からの救助・搬送訓練も行われました。（写真）

当日見学の方からのご意見

「年に一度の消防出初式で迫力満点のレスキュー活動や一斉放水など住民としてたいへん心強く感じました」との感想をいただきました。

消防団員教育制度

わたしたち消防団員は知識や技術の向上を図るため、鴻巣市にある埼玉県消防学校に入校します。

はじめは入団3年目未満を対象とした「基礎教育」、階級が上がるにつれて班長を対象とした「初級幹部研修」、部長から分団長を対象とした「中級幹部研修」があります。

基礎教育では1日間、幹部研修では各2日間の日程で研修が実施され、講義は安全管理や危機管理、消防団員としての心構えなど様々なことを学び、ここで得た知識を各分団に持ち帰り団員同士で共有します。

平成二十三年度

後期活動内容

1月7日

消防出初式

土上奥富運動公園

2月4日・18日

基礎教育

埼玉県消防学校

3月9日・10日

初級幹部研修

埼玉県消防学校

18日

入団説明会

消防本部

23日・24日

中級幹部研修

埼玉県消防学校

編集後記

広報紙作成を通じ普段はあまり面識のない他分団の方々と協力し合い活動することができました。

来年度も消防団の活動や情報をお知らせしていけるよう親しみやすい紙面作りを心がけていきます。これからも「火の用心」をよろしくお願いします。

広報委員

- 田島 隆二 須田 正
- 岸本賢一郎 指田 太
- 高橋 和幸 増田 亨
- 小田 裕一 高橋 勝則
- 岩城 利治 粕谷 紀仁